

## 歴史のバトンタッチ「記念の森プロジェクト」を始動

### ちせい ちかい —「地生・地廻」による森創り—

現在、GIKEN グループは香南市赤岡町に、世界の建設を変える『圧入工法』の「実証科学試験場」と「杭打ちのメモリアルパーク」を主体とした施設の建設を、旧赤岡町の企業誘致で進めております。

この土地は、江戸末期の絵師、「絵金」こと絵師、金蔵ゆかりの「須留田八幡宮」の“鎮守の森”に隣接した良地であります。一昔前は、五穀豊穡を願い、病の全快を祈願し、子供の遊び場でもあり、先輩から後輩へ色々な教えがバトンタッチされるメモリアルな場所でありました。種々のトンボが飛び交い、石垣には赤や黄色のハサミを持ったカニが陣取り、夜はホタルが乱舞する自然豊かな土地でした。人が集い、地生した植物が茂り、鳥や虫がいっぱい生息する“鎮守の森”を取り戻したい。地球環境が重視される中、自然を大切に作る取り組みが企業にも課せられています。

そうした中で 江戸時代の生活、明治の大変革、大正ロマン、昭和の大戦争、平成の発展など、国や地域の歴史の変遷を観てきた樹木たちをこの地に残したいと考え、「記念の森プロジェクト」を立ち上げます。

### 『その木を切ラナイデ』

○思い出があって切るに切れない木 ○やむを得ず切らなければならない悲しい木 ○手入れが出来ず放置されたままの木 ○事業運営の中で一掃したい木、などを移植し、当グループが受け継いで育てる“歴史のバトンタッチ”を計画しています。

当社は創業以来、環境をテーマに事業展開をしてきましたが、地球温暖化対策は企業にとっても国民にとっても最重要課題であります。今回の当施設の緑化にあたっては、種子や苗木からの育成をはじめ、移植による森創りを立案し、その土地に生まれ育った樹木を、その地域内で廻し、天寿を全うさせるという「地生・地廻」(ちせいちかい※造語)を実践することで、地球環境と地域への貢献を同時に果たそうとしています。また土地を守ってきた“木々に宿る精霊たち”にも新しい安住の地を提供することができます。今後、このプロジェクトに共感していただける方々から 雑木・庭木・果樹・苗木・種子 の提供を募り、当グループによって大切に育てていきます。又地域の保育園や学校と協働し、自然環境教育の一環として植樹を進めることも考えております。ご縁のあった樹木を移植した状況は、適時、当社ホームページに掲載し、ご提供頂いた方へ愛木の新たな歴史の始まりを伝えます。

当グループの考え方に共感頂きます方に感謝申し上げます。

株式会社 技研製作所  
代表取締役社長 北村精男

お問合せ先

株式会社 技研製作所

〒781-5195 高知県高知市布師田 3948 番地 1

総務部総務課 担当:吉岡 Tel. 088-846-2943